

科目名	年度	レポート番号	クラス	学籍番号	名前
API 実習	2021	5	A	20120068	山路 友樹

ページ数や文字数よりも、読んでわかりやすく書けているかどうか、点数アップの分かれ目です。

設問(1)

この科目で学んだ内容を第3者(他学部の学生や親など)にわかるように説明せよ。

そもそも API とは何か？

・ソフトとソフトをくっつけるためのプログラムをくっつけるインターフェース(接点)のこと。目には見えないためユーザーがサービスを使う際でも API を意識することはないが幅広く API が使われている。

API の実用性

・用途は様々でスマホアプリやウェブアプリ、社内システムにまで活用されている

また API を公開することによって自社にメリットが出る場合がある。例えば、サービスを提供した後にそのサービスが好調でたくさんのユーザーを獲得していたとする。その時にユーザーからの要望(機能拡張のニーズ)が届くだろう。そうした際に、開発元はそれらの機能の導入を考えなくてはならない。また、導入するにしても一度にたくさんのことを導入することはできない。そうした際に API を公開していることでユーザーが独自に拡張機能を作成公開することが可能になる。開発元にとっても考えていなかった機能が追加されるなどメリットもあり、より、サービスの質を向上させるにあたって有効な手段となるのだ。

こういったことからこの講義で学んだ、API 実習というのは専門的な分野になるが扱えるだけでも情報分野を扱う業界人にとっては大きなアドバンテージとなるのだ。

設問(2)

レポート(4)をもとに、API 連携作成または API を用いたサービス開発結果を書いてください。何かしら動くものが出来ている前提です。

名称

日本語 → 翻訳

概要(作ったものの説明)

日本語から様々な言語に翻訳が可能なアプリケーション。使用可能な環境:IOS,Android,mac,windows

LINE Development を用いて Bot を作成し、ユーザーが訳したいと思った日本語を入力することで様々な言語にして翻訳結果(文章も可能)を返却する。その際の検索結果はスプレッドシートに保存され、ユーザーは自身の検索履歴の管理も行える。使用を想定している場面として、メインに使う環境でわからない言葉があった場合、サブの端末(携帯など)から bot に打ち込むとメイン環境のウィンドウをずらずとも手軽にみることが可能になる。現段階では複数言語をまとめて表示しているため文章を打ち込むと見づらくなってしまうが一言語対応版を複数リリースすることで対応することも可能。

画面ショット(動作がわかるように画面を交えて説明)

※提出時にはこの注釈を消してください。実際に動作している様子がわかる画面ショットを交えて、各機能や特長を説明してください。

目次①アプリの説明 ②課題

①アプリケーションの説明

QRコード



アプリケーションのQRコードです。

←



← アプリの実行画面です。このように日本語で翻訳してほしい文章を入れると各国の言語に翻訳して返答をしてくれます。

現在の設定では上から、英語、中国語、ドイツ語、フランス語になっていますが開発者はこれらの言語は用途に合わせてリリースすることが可能で自由度が高くなっています。

※アプリ内の機能として logic apps を用いてユーザが翻訳したい言語を任意に選ぶことができる機能を実装する予定でしたが最終レポートの提出に間に合わないため断念しました。

イメージとしてメッセージ入力の上に言語選択欄をつけて返信モードを変えろといった機能を考えていました。(切り替えの部分でコードエラーを治せなかった。)

また、ここでの検索結果はスプレッドシートに記録されます。

ユーザはスプレッドシートをダウンロードしいままでの検索結果を見直し学習することも可能です。

<div> <div>田</div> <div>翻訳シート</div> <div>☆</div> <div>🔍</div> <div>🔗</div> </div> <div> <div>ファイル</div> <div>編集</div> <div>表示</div> <div>挿入</div> <div>表示形式</div> <div>データ</div> <div>ツール</div> <div>拡張機能</div> <div>ヘルプ</div> <div>最終編集: 48 分前</div> </div> <div> <div>🗨️</div> <div>📄</div> <div>🔒 共有</div> <div>友樹</div> </div>						
<div> <div>↶ ↷ 🖨️ 📌</div> <div>100% ▼</div> <div>¥ % .0 .00 123 ▼</div> <div>デフォルト... ▼</div> <div>10 ▼</div> <div>B I S A</div> <div>🔍 📏 📐</div> <div>☰ ▼</div> <div>↓ ▼</div> <div>↶ ▼</div> <div>↷ ▼</div> <div>...</div> </div> <div> <div>🔍</div> <div>📍</div> <div>+</div> </div>						
D18	fx					
	A	B	C	D	E	F
1	ユーザーID	原文	英語	中国語	ドイツ語	フランス語
2	U7f5744c44f458	私	Me	我	Mich	Moi
3	U7f5744c44f458	私	Me	我	Mich	Moi
4	U7f5744c44f458	私はお腹がすきました	I'm hungry	我餓了	Ich bin hungrig	j'ai faim
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

課題

- ① 上にも書いたように、翻訳したい言語を選択し切り替える機能をつけたかったが間に合わなかった。そのため、このアプリの状態ではユーザにとって見にくい UI になっている課題がある。

今後も継続して機能の追加を検討、実施する

- ② Bot アプリではなく mod として LINE に翻訳機能をつけることはできないのか？
- 公式アカウントからではなく元々のトークにこの機能を追加することによって翻訳勉強の他にも海外の方とコミュニケーションが取れる拡張機能を追加できるのではないかと考えた。
- しかし、開発元がシステムを公開していないため、導入することが不可能という結論になった。
- 新しい、チャットアプリで自動翻訳機能を標準装備にすれば可能になると考えた・・・
- 今回の API 実習では技術力の無さで実現不可能だった。